

## 夏休み特別講演会

# 銅メダリスト朝原宣治氏、ATの岩本広明先生の話に魅了

森ノ宮医療学園専門学校鍼灸学科教員 松下美穂

去る8月2日(日)、オープンスクール特別企画として、北京オリンピック陸上競技4×100mリレーの銅メダリスト朝原宣治氏、本校の卒業生で、長年朝原選手のサポートを行ってこられた岩本広明先生のお二人をお迎えして講演会を行いました。

第1部では朝原氏が『アスリートがのぞむトレーナーとは』と題し、選手がトレーナーに望むことや、北京オリンピックでのエピソードなどをユーモアを交えて話され、また第2部では朝原氏と岩本先生とが対談形式で、お二人の出会いや、お互いの印象など選手とトレーナーの関係について、専門的な内容を含めながら話していただき、和やかな雰囲気にもまれながらも、今後トレーナーをめざす学生さんや、受験生の方々は身の引き締まる思いをされていたようでした。

当日は、オープンスクール参加者、学生、卒業生など



120名を超える方々が参加されましたが、普段、なかなか聞くことができない選手の本音や気持ちを聞くことができるこのような講演会を今後も企画していきたいと思っておりますので、皆さん、ぜひご参加ください。

## 鍼灸学科 Acupunctures vs 柔整学科 π's 野球大会



鳥越大督さん(鍼灸学科34期昼間部・左)と西俊哉さん(柔整学科第7期アドバンスコース・右)が握手しプレイボール

去る7月26日(日)、淀川区の十三野球場で第2回鍼灸学科対柔道整復学科の野球大会を行いました。

鍼灸学科チームは第34期昼間部卒業生と西田隆先生(第32期夜間部)、南一成先生(第30期昼間部)。

柔道整復学科チームは第4期卒業生(アドバンスコース)と伊黒浩二先生(第2期昼間部)、外林大輔先生(第3期昼間部)で構成。午後7時に、柔道整復学科長吉川徹先生の始球式でプレイボールになりました。

実はこの対戦、今回が2回目、第1回は3月15日に行い、その結果は6対6の引き分け。ぜひ決着をと、この第2回開催となったのでした。

今年は梅雨がなかなか明けず、7月は大阪でも時折集中豪雨が発生し、試合当日も局地的に大雨が降るなど試合も危ぶまれましたが、奇跡的に試合開始前に雨が止み、しかもグラウンドには水たまりもなく、完璧な状態で試合をすることができました。

試合は序盤から打撃戦。3回までに8対2と鍼灸チームが大きくリード。その後はダブルプレイに

鍼灸学科教員 小林章子

ファインプレイで、好ゲーム。最終回、連続ヒットや四球などで柔整チームが猛反撃。2アウトで最後のバッターに対して2球目を投げた直後に照明が消され、グラウンドは真っ暗になったものの、残照のもとで試合は続行され、続く3球目を打ち上げピッチャーフライでゲームセット。次回の試合を約束して球場を後にした直後、大粒の雨が降ってきました。

今回は両チームともユニフォームを新調したこともあって、皆、高校球児のように!?生き生き伸び伸びプレイしていました。

	一	二	三	四	五	六	七	
鍼灸学科	2	3	3	0	0	0	4	12
柔整学科	2	0	0	0	0	0	4	6



鍼灸学科「Acupunctures」、柔道整復学科「π's」とチーム名を改め、真新しいユニフォーム姿全員で記念写真